

校長室だより

週1回発行

令和2年6月22日（月）NO. 9

防災訓練

6月18日（木）6校時に防災訓練を実施しました。その際、校長が話した内容を紹介します。

9年前の東日本大震災より前の1978年（昭和53年）6月12日17時14分マグニチュード7.4。最大震度は5（強震）の地震が発生しました。ブロック塀の倒壊や液状化現象などが起こり甚大な被害となりました。今から42年前のことです。

今日の防災訓練は、多くの生徒が真剣に取り組め良かったと思います。人は、今までに経験のない出来事に対してはパニックになることが多く、落ち着いて上手く対応できません。しかし、イザという時のために真剣に訓練をしておく、身体が反応するそうです。基本は、シェイクアウトです。これは、地震発生時の安全確保行動（「1. DROP！（まず低く！）、2. COVER！（頭を守り！）、3. HOLD ON！（動かない！）」を身に付けることです。

また、自助の精神で、他人任せにならないようにすることが大切です。各家庭でも防災について話し合ってください。予告なしに訪れる災害に対処するためには、日頃の備えが大切です。「備えあれば憂いなし」という言葉があります。「準備をしっかりとっておけば、心配することはない」という意味です。本日の防災訓練は、新型コロナウイルス感染症予防の中ですが、必要な訓練と位置付け実施しました。

しっかりできたか、これから5つのチェック項目を例として挙げますので、自分自身ができたか、できなかったか確認してください。1項目20点で計算し採点もしてみましょう。100点満点です。

どこかで手を挙げてもらいます。

- 1 地震発生時に、机の下にもぐり、頭をかくすことができたか。
- 2 先生の指示に従って、教室を出ることができたか。
- 3 教室から、この避難集合場所に来るまで、素早く行動できたか。
- 4 教室から、この避難集合場所に来るまで、おしゃべりをしなかったか。
- 5 避難経路（ここまで来るために通るコース）を確認することができたか。

テストなどで、100点中80点とると、まあまあよくできた（とてもよくできた）と通常は考えると思います。でも、防災訓練では80点でも不合格です。合格は100点のみです。それは、みなさんの大切な命がかかっているからです。

みなさんが学校にいる間、学校はみなさんの大切な命を預かっています。ですから、災害が起こった時、学校はみなさんの安全を最優先にします。集団が安全な避難行動をするには、絶対的に、約束事・ルールを守ることが必要なのです。

先ほどのチェック項目は約束事の一例です。他にも、担任の先生からお話しがあったと思います。備え・準備をしっかりしていきましょう。

最後に新型コロナウイルス感染症予防についてです。新しい生活様式に慣れてください。学校が再開し友人と一緒にいることのうれしさや安心感があることと思います。そこでお願いです。ソーシャルディスタンスを保って生活してください。今年度末まで槻中生一人一人がこの学び舎で充実した生活をしていってほしいと切に願っています。

学校評議員会及び学校関係者評価委員会

6月19日（金）15時より会議室で上記会議を開催しました。委員の皆様から「学校に生徒の声が戻り安心しました」「朝、学校から「おはようございます」の声が聞こえてきてうれしいです」など生徒たちを温かく見守ってくださる声をたくさんいただきました。

今回いただいた様々なご意見を学校経営に生かしてまいります。よろしく願います。

